

■ たごない 田子内鉱山を開発

池田 孫一

いけだ まごいち

出身地 大仙市（旧仙北町）

1853年（嘉永6年）～1922年（大正11年）

せんぼく 仙北の大地主に生まれたが、たごない 鉱山事業に乗り出し、全資産を投じてたごない 田子内鉱山を開発。中央の資本に頼ることなく、近代的な機械導入で業績を上げ、注目された。



年譜

- 1853年 せんぼく 大仙市（旧仙北町）に生まれる。
- 1877年 りいん 仙北郡役所の吏員に採用。2、3年で辞任。
- 1882年 しよくけんしゃ 秋田市に出て、秋田織絹社の経営に携わる。
- 1886年 たごない 鉱山事業に乗り出し、田子内鉱山を経営。
混合金銀、月産25貫を得る。
- 1897年 せんにん 東北鉱業会を組織、専任幹事となる。
- 1899年 たごない 田子内鉱山、一度閉山となる。翌年、再開。
- 1902年 銀価の暴落で休山状態となる。
- 1906年 ふじた 田子内鉱山、合名会社藤田組の所有となる。
- 1922年 ぼつ 小坂町で没。68歳。